

学校保健委員会だより

№ 1

平成30年6月29日

発行：猪調小・学校保健委員会

本年度第1回の学校保健委員会を、6月22日（金）に開催しました。校医の徳田先生・
歯科校医の川上先生・PTA本部役員・PTA保健体育部員・教職員等、20名が参加
しました。

子どもたちの健康課題に対し、私たち大人がしなければならないことについて
それぞれの立場で考え、話し合いました。協議内容について、お知らせいたします。



本年度テーマは…親子で考えよう。よりよい生活習慣！

10月に開催予定の「第2回学校保健委員会」の中で、親子で取り組んでいけるもの（食
事について・親子で何か実践できるもの・親子でがんばれるもの・身近なもので親子でワー
クショップなどが出来ないか）など意見が出されました。

保護者の皆様で、学校保健委員会の中で取り組んでほしいことなどがありましたらお聞か
せください。

【本校の実態について】

① 健康診断の結果報告

- ・視力検査の結果、全校の17.1%（18名）が視力1.0未満の児童で、眼鏡使用者を含めると21.9%
（23人）となります。家庭でのゲーム・テレビ・パソコン等の使用状況が気になります。学習
時の姿勢や照明についても、各家庭でも気をつけてください。
- ・歯科検診の結果、40人（38.8%）の児童に未処置歯があり、乳歯・永久歯の未治療の歯が122本あ
ります。むし歯だけでなく、歯垢・歯肉の状態、要注意乳歯、COなどがあって要受診の子ども
たちの数は、56人（全体の54.4%）です。早めに受診をして、治療やご相談をしてください。
6/29現在、7人（12.5%）治療が終わっているようです。歯科検診の結果は、6月の保健だより
に載せています。



治療が終わった人は、お知らせください。

年間到達目標 60%！

できるだけ…100%に!!

近づきたいですね。

・肥満、肥満傾向（肥満度）

	学年	1	2	3	4	5	6	計
肥 満 傾 向	A 高度							0
	B 中等度						2	2
	C 軽度	2		3	1		2	8
	D 普通	18	19	15	17	17	9	95
や せ 傾 向	E やせ							0
	F 高度							0
	計	20	19	18	18	17	13	105

1.9%

7.6%

90.5%

③ 本校の健康教育・学校での取組について

- 生活習慣づくりカード「すこやかカード」に年間5回、全校をあげて取り組んでいきます。
(5・7・9・11・1月) ご協力よろしくお願いします。

5月実施の結果(全校)

提出率 99.0%

5/14~5/18 実施

早 起 き	朝ごはん	元気な あいさつ	歯みがき	テレビ・ ゲーム	早 寝	25点以上 の人数	今日は楽しか ったですか
85.8%	96.7%	94.6%	90.1%	82.7%	72.8%	83人	99.2%

昨年5月の結果

86.0%	97.3%	89.6%	91.0%	81.9%	78.5%	77人	97.1%
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-----	-------

- 「すこやかカード」の状況によると「早ね・テレビやゲームの時間」が課題のようです。
- 就寝時刻を、低学年9時、中学年9時半、高学年10時までにして、早く寝るようにしましょう。
習い事などで遅くなることもあるでしょうが、それ以外は早く休むようにしましょう。

④ 校医 徳田先生

徳田先生からは、ネット依存について(アップルとかが時間制限をかけてきている…子どもたちの健康に少なからず影響している)のお話があった後で、保護者の方からの質問に答えるという形で助言をいただきました。

保護者からは、「マダニの害」や「予防接種」について質問がありました。

- 「マダニ」に対しては現在のところ、特効薬はなく、咬まれたら無理に取らずにそのまま医療機関を受診すること。咬まれて2週間くらいは要注意。熱が出たり、体がだるかったり、かゆみも非常に強い。マダニに咬まれたペットから人が咬まれることで発症する事もある。
- 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)について、質問があり、小学校高学年までにかかっているならば「予防接種」をした方がいい。血液検査で抗体があるかどうか調べられるがお金がかかる。かかったかどうかわからないものは、予防接種をした方がいいということでしたがこれもお金がかかってきます。実際かかる金額については、医療機関に問い合わせてください。基本的には、予防接種をした方がいいということでした。

歯科校医 川上先生

歯科検診の結果、昨年のほうが歯みがきの状態は良かった。治療率が上がらないのは、猪小だけではない。子どもたちの口の中は、かかりつけの歯科医を持ち定期的に検診に行っている子どもと、口の中が崩壊している子ども(親の多忙・経済的な面・ネグレクトなど)の二極化が見られる。

視点を変えて、食生活(普通の食べ物を普通に決められた時間に食べて、糖分の少ないものを取る)など、できることからやりましょう。



むし歯になってしまった歯は、自然には治らないので早めに受診してください。定期的な検診も重要です。健康フェスタの時に、歯の染め出しをして、みがき残しを確認、ブラッシングをしました。夏休みにも染め出しをするために歯っぴーセットを配布します。6月の歯みがきの状態と夏休みを比較して歯みがきが上手になっているか確認してください。6月の時よりも赤く残っているようなら歯みがき不足です。ていねいに、一本一本歯みがきしましょう。